

申請日 平成 29年 6月 10日

明日に架けるたるみ応援ハートブリッジ助成申請書

垂水区社会福祉協議会
理事長 様

団 体 名 NPO 法人〇〇〇〇〇〇〇

住 所 神戸市垂水区日向1丁目5番1号

役職・氏名 代表 垂水 太郎

電 話 番 号 078-708-5151

この度、下記活動を行うにあたり、明日に架けるたるみ応援ハートブリッジ助成を利用したいと思っておりますので、関係資料を添えてここに申請いたします。なお、当制度を利用するにあたっては、垂水区社会福祉協議会が定める「たるみ応援ハートブリッジ助成要綱」の規定をすべて了承しており、同規定を違反したことによる決定の取り消しについて異議を申し立てません。

記

1. 事業の名称

(新規 ・ 継続)

不登校の子どもの地域活動支援

事業

2. 助成金申請額

225,000 円 (申請事業の事業費総額)

227,292 円)

※千円未満を切り捨てして申請してください。

3. 実施の日程

平成 29年 4月 30日 ~平成 30年 3月 31日

- ※1 申請書は鉛筆書き不可です。ボールペン書き、またはパソコンで入力しプリントアウトしたものを提出してください。
- ※2 申請書提出時に、別紙申請書類チェックリストにより、申請に必要な書類がすべてそろっているかご確認ください。
- ※3 以前に、本助成事業を受け、同様の事業をされている場合は、継続にを入れてください。

団体の概要

(団体名) NPO 法人〇〇〇〇〇〇

1) 団体の連絡先

団体	名 ^{フリガナ} 称	NPO 法人〇〇〇〇〇〇		
	代表者氏名 ^{フリガナ}	(役職・氏名) 代表 垂水 太郎(たるみたろう)		
	住 所	神戸市垂水区日向 1 丁目 5 番 1 号		
	電 話 番 号	078-708-5151	F A X	078-709-1332
	ホームページ	http://www.tarumi-csw.or.jp/		
連絡担当者 (上記と異なる部分のみ記載してください)	担当者氏名 ^{フリガナ}	(役職・氏名) 副代表 東垂水 花子(ひがしたるみはなこ)		
	住 所			
	電 話 番 号		F A X	
	携 帯 番 号	090-AAAA-BBBB		
会計担当者	氏 ^{フリガナ} 名	西垂水 一郎(にしたるみいちろう)		

2) 団体の情報

設立年月日	1999 年 8 月 1 日	団体構成員	23 名
設立の目的	当法人は、学校に行きづらい不登校などの子どもに対し、居場所の提供と学び支援を行うことを目的に設立した。		
入会資格	当法人の目的に賛同する個人並びに団体であれば、入会可。		
年会費(種別等)	NPO 会員 5,000 円、支援会員 3,000 円、通信会員 1,500 円		
主な活動実績 (スペースが足りない場合は、別紙に記載し、表彰歴があれば合わせて記載してください。)	年 月	内 容	
	2003 年 3 月	〇〇基金助成事業 建築学習プログラム実施	
	2006 年 9 月	神戸市地域活動賞受賞	
	2010 年 6 月	△△省〇〇対策推進事業受託	
	2012 年 4 月	神戸市居場所づくり助成事業実施	
2015 年 6 月	神戸市社会福祉協議会 理事長感謝状受賞		

3) 団体の財政状況

平成 28 年度繰越額	835,000 円
平成 27 年度繰越額	835,000 円
繰越金がある場合理由を記載する事	<p>=繰越金が必要な理由=</p> <p>当団体は、利用者が納める利用費が主な事業収入となっているため、利用者の増減が運営に影響しやすい。そこで、安定した活動が継続できるよう、2 か月分の活動資金に相当する 80 万円を確保するようにしているため、上記のような繰越額となっている。</p>

事業の概要

(団体名) NPO 法人〇〇〇〇〇〇

4) 申請事業の概要 (※この記述をもとに、事務局から審査員に説明をします)

事業名称	不登校の子どもの地域活動支援	事業
概要 (各項目の設問に沿い、具体的に記述してください)	(私たちは普段こういった活動をしています) 私たちは、不登校の小・中・高校生を対象に、学習支援と居場所の提供を行っています。	
	(活動の中で、垂水区にこういった課題があると考えました) 対象の子どもたちは、人の役に立つ経験をする場・機会がなく、地域社会につながるきっかけを失っていると考えられます。	
	(こういった方々を対象にして課題解決に取り組みます) 不登校の小・中・高校生を対象にし、垂水区の地域団体主催の地域行事へ参画する機会を設けることで、前述の課題解決に取り組みます。	
	(このような事業をしたいと考えました) 対象の子どもたちが地域団体や行事等に関わるきっかけ作りとして、彼らと缶バッジを製作し、それらを、ガチャガチャを使って地域の中で販売することで相互交流を促進する事業を行いたいと考えました。	

5) 助成を受けた場合のPR方法について

当該事業を実施するにあたり、本件助成を受けた場合、助成事業であることを、どのように周知する予定があるか、以下にお書きください。

職業体験の場や地域イベントの会場に、助成事業であることを PR する掲示物を設けます。また、団体の SNS で、活動の様子を発信する際に、助成事業の趣旨等もあわせて発信します。

6) 助成を申請するにあたって

にチェックを入れ、()内に助成名称を記入ください。

他の助成制度への申請状況	<input type="checkbox"/> 申請している ()	<input type="checkbox"/> 検討している ()
本件助成金が減額された場合	<input type="checkbox"/> この活動を中止する	<input checked="" type="checkbox"/> 活動の規模を一部縮小して実施する
助成期間終了後の活動予定	<input checked="" type="checkbox"/> 活動を継続する	<input type="checkbox"/> 活動を終了する <input type="checkbox"/> 現段階では未定

7) 赤い羽根共同募金・善意銀行の協力実績、協力可能な事を具体的にお書きください

この項目は、審査の際、参考とさせていただきます。

これまでの協力実績に✓を入れてください	今後実施・協力可能な募金活動を具体的にお書きください
<input type="checkbox"/> 募金箱を設置した	これまで、街頭募金に参加したことはありません
<input type="checkbox"/> 会員等に募金協力を呼びかけた	でしたが、これを機会に参加をしたいと思います。
<input type="checkbox"/> 団体行事で募金を呼びかけた	また、団体行事の際に募金箱を設置し、会員へ募
<input type="checkbox"/> 街頭募金に参加した	金協力を呼び掛けします。
<input checked="" type="checkbox"/> ポスターを掲示した	
<input type="checkbox"/> 本助成の報告会を傍聴した	
<input checked="" type="checkbox"/> 本助成の公開審査会を傍聴した	
<input type="checkbox"/> 社協からの応援要請に対応した	

企 画 書

(団体名) NPO 法人〇〇〇〇〇〇

8) 課題をどのように解決していきたいのか、以下の設問に沿って記述してください。

①垂水区で、どういった課題があるのか、普段の団体活動をもとに記述してください

不登校の子どもたちは、地域とつながることができず、孤立状態となっているケースが多い。そのため、対象の子どもたちが地域の活動へ参画するきっかけづくりは困難で、不登校の子どもへの理解がある場や機会は極端に少ないため、必然子どもにとって参加のハードルは高くなってしまう。

②数字(回数や金額、年齢、人数など)を用い、課題の根拠を具体的に示してください

文科省の発表によると小・中学生の不登校者数は全国で約 12 万人といわれている。神戸市の報告ではおよそ 1,600 人が不登校との報告があり、神戸市が 9 区あることから単純計算しても、垂水区では 170 人が学校に行けない状況にあると推測される。現在、当法人では、17 名の不登校生を支援しており、これは区内の 1 割に相当するといえる。

③課題の解決方法を、数字(対象人数や件数など)を用い、わかりやすく記述してください

昨年度、②で述べた子どもたちを対象に、ガチャガチャ 4 台を使った社会貢献学習を行った。今年度は子ども 1 人につき 2 点缶バッジをデザインしてもらい、1,700 個のバッジを製作する。区内で実施される 12 の行事(のべ 25 日間程度)と法人施設前への常設を通して販売を行う。また携行可能なガチャガチャ本体を新たに 1 台購入し、地域活動の場で PR を試みる。これら一連の取り組みを通して子どもたちの地域参画を促す。

④解決方法が、垂水区民にどのように役立ち、効果があるのか具体的に記述してください

取り組みを通して、垂水区で不登校をしていると推定される約 170 人の子どもならびにその保護者へ、学校に行けなくても人の役に立つ経験ができるということを伝えられるとともに、地域住民に不登校に関する課題を気軽に知ってもらうことができる。

⑤課題解決に、繰越金を使えない事情があれば記述してください

当法人は、利用者の負担により運営を行っているため、新しい取り組みをするための予算が確保しにくいという事情がある。また、繰越金は利用者の増減があっても、運営に支障が出ないようにするため、最低限必要な額であり、本事業にあてることが難しいという事情もある。

9) 継続申請団体は以下の項目についてもお書きください。

⑥継続申請団体は、事業の変化や効果を、数字を用い、わかりやすく記述してください

前回助成いただき、取り組みを行った結果、およそ 5 か月で 22,000 円分の缶バッジを売り上げることができた。また、ガチャガチャの設置に協力していただける団体が 6 団体に増えたことに伴い、子どもたちの地域活動の場も増えた。

⑦継続申請団体は、垂水区で事業をどのように拡充していくか記述してください

今後も、垂水区内でガチャガチャの設置に協力いただける団体をつのり、子どもたちの活動の場を増やしていく。また、地域に向けて不登校の子どもへの理解を深めるための情報発信を行い、対象の子どもたちが地域活動に参加しやすい環境を整えていく。また、本事業を通して、赤い羽根共同募金運動へ協力していく。

記入例

(様式1-5)

活動計画書

(団体名) NPO 法人〇〇〇〇〇〇

活動の日程	活動の内容(実施スケジュール) ※開催場所・実施回数・対象者人数・スタッフ人数・備品等購入予定日などを具体的にお書きください。
平成 29 年 8 月上旬	デザイナーとの企画会議 対象者) 17 名 スタッフ) 3 名 於) 三ノ宮
平成 29 年 8 月上旬	ガチャガチャ本体とカプセルの購入
平成 29 年 8 月中旬	バッジデザイン制作① 対象者) 17 名 スタッフ) 3 名 於) 当法人活動スペース
平成 29 年 9 月上旬	地域団体への依頼 対象者) 17 名 スタッフ) 3 名 於) 垂水区内の団体
平成 29 年 10 月 ～平成 30 年 3 月	地域活動への参画(のべ6回) 対象者) 17 名 スタッフ) 3 名 於) 垂水区内の地域行事 ＝参加予定の地域行事＝ (10 月)〇〇まつり (11 月)垂水〇〇グループ文化祭 (12 月)歳末フェア (1 月)垂水区〇〇町町内会もちつき大会 (2 月)豆まき大会 (3 月)いかなごまつり/ボランティアまつり
平成 29 年 10 月上旬	バッジデザイン制作② 対象者) 17 名 スタッフ) 3 名 於) 当法人活動スペース

※参加人数等は活動に従事するスタッフ、ボランティア、一般参加者(単なる参加者)等を区別し記載してください。

※スペースが足りない場合は行を増やしてください。

記入例

(様式 1-6)

収支予算書

(団体名) NPO 法人〇〇〇〇〇〇

■収入 ※本助成金は赤い羽根共同募金と善意銀行預託金を財源としています。自己資金や参加費等の活用を検討してください。

項目	内 訳	金額(円)	助成金
助成金	明日に架ける「たるみ応援ハートブリッジ助成」	225,000	225,000
参加費			/
売 上	缶バッジ売上 @100×20=2,000 円	2,000	
自己資金		292	
寄 付			
合 計(a)		227,292	

■支出 ※積算内訳は、実際に要する金額を記入するようにしてください。(見積書がある場合は、その金額を記載してください)

項目	積算内訳	金額(円)	助成金充当額
交通費	デザイナー打合せ@300×2×3 回(JR 三宮~垂水)=1,800 円 区内団体打合せ @210×2×7 回(バス垂水区内)=2,940 円	4,740	4,740
謝 金	デザイン講師謝金@20,000×3 回=60,000 円 データ制作費用 @5,000×3 回=15,000 円	75,000	75,000
消耗品	缶バッジ製作費 @60×17 種×50 個×2 回=102,000 円 カプセル代金 @23.52×200 個×3 セット=14,112 円 水性ペン @1,080×3 セット=3,240 円 A4 コピー用紙 @294×1 個	119,646	119,646
印刷費	チラシ印刷費(200 部) @6.48×200=1,260 円	1,296	1,296
通信費	郵送料 @82×15 ケ所=1,230 円	1,230	1,230
使用料			
備品費	カプセルステーション V ハーフ @22,140×1 個	22,140	22,140
保険料			
手数料	振込手数料 @324×10 件=3,240 円	3,240	948
修繕費			
参加費			
その他			
対象外経費			/
合 計(b)	合計額の(a)と(b)が一致するようにしてください	227,292	225,000

対象となる経費
対象とならない経費

消耗品、印刷費、通信費、使用料、備品費、保険料、手数料、修繕費、参加費
人件費、運営費、茶菓代、水道光熱費、(それぞれの詳細はご案内を参照ください)

申請書類チェックリスト

■ 申請団体の皆様へ

申請書を提出する前に、本チェックリストを使い、添付書類一式が同封されているか、また記載漏れがないか、今一度ご確認ください。（②、③、④についてはA、Bいずれかを提出してください。）

提出書類が整備されていない場合や、不備があると、受理することができず、結果として審査を受けられない場合があります。

■ チェックリスト

チェック

提出書類一式		部数等	✓
①	申請書様式 1 - 1 ~ 6	1 部	
②	A (ボランティアグループや任意団体の場合) 平成 28 年度予算書・平成 27 年度決算書	いずれか 1 部	
	B (社会福祉法人やNPO法人等の場合) 総会の議案書・平成 28 年度予算書・平成 27 年度決算書		
③	A (ボランティアグループや任意団体の場合) 団体の平成 28 年度活動計画書・平成 27 年度活動報告書	いずれか 1 部	
	B (社会福祉法人やNPO法人等の場合) 平成 28 年度事業計画書・平成 27 年度事業報告書		
④	A (ボランティアグループや任意団体の場合) 団体の規約	いずれか 1 部	
	B (社会福祉法人やNPO法人等の場合) 法人の定款		
⑤	会員（団体の構成員）名簿	1 部	
⑥	(助成金で備品購入、修繕を行う場合のみ) 見積書 1 社 (※ホームページ不可)	1 部	
⑦	団体の会報(活動歴の別紙含む)などの添付資料 (A4 サイズ 5 枚程度まで)	1 部	

※このチェックリストは提出する必要はありません。